

齋賀医院壁新聞

文献情報と医院案内 齋賀医院ホームページに戻る場合戻るボタンをおしてください

検索ボックス

<< 胃過形成ポリープの切除後の経過 | TOP | 新型コロナの病理 (ARDS) >>

2020年03月31日

<< 2020年05月 >>

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

最近の記事

(05/13) [オリーブオイルが心血管疾患の予防に](#)

(05/12) [新型コロナにおける味覚障害と嗅覚障害](#)

(05/12) [糖尿病治療薬のフォシーガが心不全の治療として承認](#)

(05/11) [新型コロナの診断方法](#)

(05/11) [唾液によるPCR検査](#)

最近のコメント

[唾液によるPCR検査](#) by (05/12)

[新型コロナに感染した乳児の入院](#)

[における汚染状態](#) by (05/10)

[新型コロナの軽症、中等症の総](#)

[説・NEJMより](#) by (05/06)

[新型コロナの軽症、中等症の総](#)

[説・NEJMより](#) by (05/06)

[新型コロナ関連の冊子](#) by (05/02)

タグクラウド

カテゴリ

[小児科](#)(193)

[循環器](#)(200)

[消化器・P.P.I](#)(118)

[感染症・衛生](#)(110)

[糖尿病](#)(110)

[喘息・呼吸器・アレルギー](#)(84)

[インフルエンザ](#)(99)

[肝臓・肝炎](#)(60)

[薬・抗生剤・サプリメント・栄養](#)

[指導](#)(45)

[脳・神経・精神・睡眠障害](#)(39)

[整形外科・痛風・高尿酸血症](#)(29)

小児における新型コロナウイルス感染症

小児における新型コロナウイルス感染症



雑誌のNEJMに、中国における小児例の報告論文が2編掲載されています。

1) SARS-CoV-2 Infection in Children

纏めますと

・2020年3月10日時点での新型コロナ感染患者数は、中国のCDCによりますと72,314名で、その内10歳以下の小児例は1%以下と少ないようです。

・武漢で16歳以下のコロナ感染患者の治療を、中央政府から唯一認められた病院でデータ解析をしています。症状のある患児及び患者家族と濃厚接触のある、無症状の小児が対象です。2020年2月26日までに1,391人を検査して、171人(12.3%)が新型コロナと確定診断されています。

・年齢は生後1日から15歳までです。27人が無症状でした。(16%)咳(49%)、発熱(42%)、39℃以上の高熱(9%)、肺炎は111人(65%)で、その内無症状が12人、6人がリンパ球減少で、それ以外に検査では異常ない。3人が人工呼吸器を使用、生後10カ月の乳児が死亡(腸重積で入院中で多臓器不全の状態)

・初期のデータと同じで小児の場合は軽症が多いが、無症状で肺炎を起こしている場合があります。注意が必要です。

- [ワクチン](#)(31)
- [癌関係](#)(10)
- [脂質異常](#)(28)
- [甲状腺・副甲状腺](#)(17)
- [婦人科](#)(8)
- [泌尿器・腎臓・前立腺](#)(31)
- [熱中症](#)(7)
- [日記](#)(17)
- [その他](#)(64)

過去ログ

- [2020年05月](#)(11)
- [2020年04月](#)(18)
- [2020年03月](#)(18)
- [2020年02月](#)(18)
- [2020年01月](#)(19)
- [2019年12月](#)(14)
- [2019年11月](#)(15)
- [2019年10月](#)(18)
- [2019年09月](#)(18)
- [2019年08月](#)(14)
- [2019年07月](#)(14)
- [2019年06月](#)(16)
- [2019年05月](#)(14)
- [2019年04月](#)(18)
- [2019年03月](#)(19)
- [2019年02月](#)(19)
- [2019年01月](#)(15)
- [2018年12月](#)(16)
- [2018年11月](#)(20)
- [2018年10月](#)(20)
- [2018年09月](#)(18)
- [2018年08月](#)(24)
- [2018年07月](#)(18)
- [2018年06月](#)(18)
- [2018年05月](#)(20)
- [2018年04月](#)(19)
- [2018年03月](#)(20)
- [2018年02月](#)(14)
- [2018年01月](#)(14)
- [2017年12月](#)(20)
- [2017年11月](#)(17)
- [2017年10月](#)(22)
- [2017年09月](#)(18)
- [2017年08月](#)(20)
- [2017年07月](#)(23)
- [2017年06月](#)(19)
- [2017年05月](#)(19)
- [2017年04月](#)(22)
- [2017年03月](#)(20)
- [2017年02月](#)(18)
- [2017年01月](#)(21)
- [2016年12月](#)(17)
- [2016年11月](#)(25)
- [2016年10月](#)(22)
- [2016年09月](#)(21)
- [2016年08月](#)(20)
- [2016年07月](#)(26)

Signs and symptoms	
Cough — no. (%)	83 (48.5)
Pharyngeal erythema — no. (%)	79 (46.2)
Fever — no. (%)	71 (41.5)
Median duration of fever (range) — days	3 (1–18)
Highest temperature during hospitalization — no. (%)	
<37.5°C	100 (58.5)
37.5–38.0°C	18 (9.4)
38.1–39.0°C	39 (22.8)
>39.0°C	16 (9.4)
Diarrhea — no. (%)	15 (8.8)
Fatigue — no. (%)	13 (7.6)
Rhinorrhea — no. (%)	13 (7.6)
Vomiting — no. (%)	11 (6.4)
Nasal congestion — no. (%)	9 (5.3)
Tachypnea on admission — no. (%) [†]	49 (28.7)
Tachycardia on admission — no. (%) [‡]	72 (42.3)
Oxygen saturation <92% during period of hospitalization — no. (%)	4 (2.3)
Abnormalities on computed tomography of the chest — no. (%)	
Ground-glass opacity	56 (32.7)
Local patchy shadowing	32 (18.7)
Bilateral patchy shadowing	21 (12.3)
Interstitial abnormalities	2 (1.2)

私見 1)

小児は軽症で治癒率も良好ですが、感冒症状の発熱、咳、咽頭発赤は、なんと半分しか認められず、一見軽い感冒かと間違いそうです。しかも肺炎（ウイルス性）は60%強もあり、無症状肺炎は7%と油断は許されない様です。

2) Detection of Covid-19 in Children in Early January 2020 in Wuhan, China

纏めますと

- 2020年1月に初期の確定診断した6例を提示しています。6例中4例が肺炎と診断されています。
- 全員が入院後に軽快しています。（平均7.5日）
- 流行の初期に、既に小児例が認められています。

Table S1. Lab-confirmed viral etiology of 366 hospitalized pediatric patients

Etiology	Number (%) of patients
Any viral etiology	79 (21.6)
Influenza A virus	23 (6.3)
Influenza B virus	20 (5.5)
Adenovirus	16 (4.4)
Enterovirus	15 (4.1)
SARS-CoV-2	6 (1.6)
Herpes simplex virus 1	3 (0.8)
Co-detection*	4 (1.1)

* Includes co-detection of influenza A virus and enterovirus (1 case), co-detection of herpes simplex virus 1 and adenovirus (1 case), and co-detection of influenza A virus and adenovirus (2 cases).

文献suppleより

私見 2)

上の表から分かる事は、コロナ感染が流行り始めた時期にインフルエンザも流行していました。その際に武漢の病院の小児科外来では、新型コロナの患者はインフルエンザの5から10分の1程度の発生と推測されます。

今後日本で新型コロナのオーバーシュートが起きたら、日本の本年度のインフルエンザ発生(20例/週)から考えて20/5~10の規模と想定すると、小児でも2~4例/週 外来受診することになります。しかも、一見軽度の感冒症状を纏っているかもしれません。

[2016年06月](#) (27)

[2016年05月](#) (24)

[2016年04月](#) (24)

以降はカテゴリーで検索してください。

[RDF Site Summary](#)
[RSS 2.0](#)

[SARS-CoV-2 Infection in Children.pdf](#)

[新型コロナ 小児 2.pdf](#)

0

 ブックマーク

【感染症・衛生の最新記事】

- ▶ [新型コロナにおける味覚障害と嗅覚障害](#)
- ▶ [新型コロナの診断方法](#)
- ▶ [唾液によるPCR検査](#)
- ▶ [新型コロナに感染した乳児の入院における汚...](#)
- ▶ [コロナ鬱と戦おう・じゅん散歩](#)

posted by 齋賀一 at 19:01 | [Comment\(0\)](#) | [感染症・衛生](#)

この記事へのコメント
コメントを書く

お名前:

メールアドレス:

ホームページアドレス:

コメント:

